

新年あけましておめでとうございます。

共和ゴムの寺阪です。

今年は「取捨選択」を大きなテーマとして取り組んでいく所存です。

当社ブランド製品をPPM(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)分析をし、「花形」「金のなる木」「問題児」「負け犬」の4つに分類しました。社長の僕ではなく、あえて若手営業3人衆(武政、道上、寺阪翼)にやってもらいました。当社の特徴として「問題児」がかなり多いということが挙げられます。新製品はまず「問題児」からスタートしますので、近年立ち上げた新製品がとても多く、どうしても「問題児」が多くなっております。この「問題児」を「花形」に移行させなければいけません。この「花形」移行作戦は戦略性を持って営業部全員で取り組んでいく所存です。「花形」「金のなる木」に関しては、売上を維持(できれば拡大)させることが、まず第一となります。これに関しては「守りの営業」として取り組んでいきます。一番大きな問題は「負け犬」です！負け犬製品をいつまでも残しておくのではなく、「撤退」するという事に思い切って取り組みます。当社のような中小企業は経営資源を分散させるのではなく、得意分野に集中させ、一点突破を目指さなければいけません。今までにもそのように心掛けてきましたが、「撤退」という思い切った行動までには至っていませんでした…「撤退」という経営判断はトップでしかできない仕事です。思い切って「撤退」することで、場所(スペース)の確保、経費の削減にもつながると思っています。そして「問題児」は、今年もどんどん大量生産していきます！(笑)その仕事はベテラン社員の今年度テーマとしており問題児を作った数を評価基準に入れていきます。「問題児」を作り、それを頑張って売っていき「花形」に成長させるというプロセスが営業の醍醐味だと思っており、営業部全員に社内営業研修で強く伝えました。みんなやってくれればと信じております。

また今年から行うもう一つ大きなテーマとして「世代交代も含めた若手へのシフト」があり、昨年から少しずつ取り組んでおります。僕自身が講師となって、若手社員に対して1日社内研修を行っております。講習の内容は営業だけでなく、製造、品管(統計的手法)、会社経営、財務分析、マネジメント、歴史、宗教、人生観など多岐にわたっております。昨年は3回行いましたが、今年は6回以上行う予定です。一方的な座学形式ではなく、各自ちゃんと考えさせ、議論させながら熱く濃い内容にしております。みんなの吸収も早く、とても良い手応えを掴んでおります。若手社員の能力を一気にUPさせ、10年間掛けて世代交代へしっかりと取り組んでいきます。

社員一同、今年もしっかりと精進していく所存ですので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



代表取締役 寺阪 剛  
Takeshi Terasaki



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA  
RUBBER  
NEWS  
LETTER

共和ゴムニュースレター 第73号  
2022年1月発行

ニュースレターのバックナンバーは  
弊社ホームページでご覧いただけます。

### 共和ゴム株式会社

Tel. 072-855-1039(代表) / Fax. 072-855-1090(代表)

#### 本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3

#### 東京営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F

#### 栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439

当社はSDGsの開発目標17すべてにアプローチしております



# KYOWA RUBBER NEWS LETTER

2022.1  
Vol. 73



# 謹賀新年 2022 TRY!

栃木事業所の岡本です。  
昨年中は大変お世話になりました。  
早いもので、栃木事業所を立ち上げてから約4年半経ちました。  
現在は、立ち上げ当初より建屋を1棟増築し、社員2名とパート従業員8名で「なんでも継手」というハンドホールとFEP管の接続継手の組立と出荷作業をしています。  
途中、人員不足の問題等ありましたが何とか順調にきております。  
今年は更に成長していけるよう努力してまいりますので、今後ともお引き立てのほど宜しくお願い致します。



栃木事業所  
所長 岡本 雄二



昨年は「なんでも継手」に、新ラインナップ「角型FEP用なんでも継手」が発売されました。  
正式発売からまだ3ヶ月ですが、東京都の発注工事や大型物件での採用も多数いただいております。  
ハンドホールメーカー様からは在庫のハンドホールがそのまま使い、納期が短くなり助かるとの声をいただいております。  
私も実際の現場へ訪問させていただき、作業員の方の意見を聞いたところハンドホールの納期が短くなり、非常に使いやすい製品だと好評でした。「角型FEP用なんでも継手」にご興味があれば是非お問い合わせください。

昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、お客様と直接お会いする機会が少なかった分、今年はたくさんのお客様とお会いできるのを楽しみにしております。  
本年も宜しくお願い致します。



## 出展レポート

### 建設技術フェアin中部

ニュースレターを御愛読されている皆様、  
こんにちは。お世話になっております。  
本社営業部の道上です。



本社営業部  
道上 隼人

2021年12月14日(火)、15日(水)の2日間開催されました【建設技術フェア2021in中部】に出展して参りました。私事といたしましては営業部に異動してから3回目の展示会になるのですが、毎度のことながら非常に充実した2日間を送ることが出来ました。また、たくさんのお客様に弊社のブースにお越しいただき有難い限りでございました。

今回の展示会では、『ポルトナット防錆キャップまもるくん®』、『目地フォーム®』、『ノロSTOPパー®』を展示させて頂きました。  
その中でも『ポルトナット防錆キャップまもるくん®』にご興味を示してくださるお客様が非常に多かったように感じています。中には、先々月開催された【建設技術展2021近畿】に出展した際に弊社の『ポルトナット防錆キャップまもるくん®』が「注目技術賞審査委員特別賞」を受賞した事を知っている方もおられて非常に誇らしい気持ちになりました。今回の展示会も色々なお引き合いを頂くことが出来たので、今後一層『まもるくん®』が皆様のお役に立つこと間違いなしだと確信しております。



また、『目地フォーム®』も非常に良い反応を頂くことが出来ました。しかし、日頃から皆様のお力添えを頂き全国各地多数実績は増えてきているものの、やはりまだまだ普及していない地域もあることも実感しました。「歩車道境界ブロック、中央分離帯等の各種ブロックの目地材といえば共和ゴムの目地フォーム!!」とっていただけるように営業活動に励みたいと思います。

営業としてはまだまだ未熟者ですが、2022年は自分にとって飛躍の年にしたいと意気込んでおります。皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

